

私が体験しました!

小さい頃からモノづくりが大好きで、いろいろ工夫をしてきました。今日はプロの技を見たいです。

中学3年生  
嶋田智仁さん



家庭科でミシンを使うのが楽しく、裁縫に興味があります。どんなものがつくれるか、楽しみです!

中学1年生  
安田常盤さん



# むさしの 仕事図鑑

中学生記者が  
仕事を体験します!

## 体験スタート!

### 仕事 1 靴型づくり



弾力性のある発泡ポリエチレンを使って、着ぐるみの靴をつくります。きれいに丸みが出るように意識しながらパーツを貼り合わせ、靴底に接着します。

▶ 両側から押しつけるようにしながらボンドで接着。



### 仕事 2 衣装の装飾づくり

オープンで発泡ポリエチレンを温めて柔らかくし、熱いうちに2枚の型で挟み込んでギュッと押し、花形の装飾品をつくります。衣装の装飾に使います。

▶ 余分なところを切り取り、黄色いボアを貼ってかわいい花に。



形が崩れないようにしっかり...



▶ 型の上に膝を乗せて、全体重をかけて押さえる。

嶋田さん ● ゴーゴープロダクションのロゴマークには、なぜ55という数字があるのですか?  
二村さん ● うちはずっともともと着ぐるみメーカーというよりも、パフォーマンス集団です。小さくてかわいらしくて、人間が中に入っていることを感じさせない着ぐるみキャラクターを演じるには、身長155cm以下が望ましいので「55」の数字を入れま

着ぐるみをオーダーしてくださる企業と、着ぐるみを喜んでくださるお客さま。両者を笑顔でつなぐことが私たちの使命です。

代表取締役

二村直範さん



### 着ぐるみ製作

#### ってどんなお仕事?

オーダーメイドの着ぐるみを製作します。お客さまのイラストから図面を起こして生地や素材を選び、立体化して作品に命を吹きこみます。

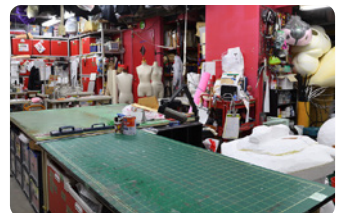
### ゴーゴープロダクション

(吉祥寺本町1-33-10丸二ビル1F)

本格的な着ぐるみエンターテインメントを創造するパフォーマンス集団。生き生きとしたキャラクターを表現するため、こだわりの着ぐるみ製作まで自分たちで行います。スポーツチームのマスコットやテレビ番組のキャラクターなど、人気の着ぐるみを多数製作。海外からのオファーも少なくありません。

電話: 0422-27-5523

<http://www.myquee55.com/>



## 仕事 5 試着

面下を着けて頭の部分をかぶってみます。中のヘルメット部分を頭にかぶせ、あごにぐるりとベルトを回してしっかりと留めつけます。

▶ ヘルメットの位置を確認しながら、ゆっくり頭の中に入れる。



想像より視界が広くて動きやすい



④ グラフつかないようにベルトで留めて、はいポーズ！

## 感想

想像を超えたプロの技でした！ 一つひとつの工程にこだわりや誠意が感じられて、仕事への向き合い方を知ることができました。(嶋田さん)

いろいろな体験ができて楽しかったです。縫い目の毛出しなど、細かいところにまで気を使った丁寧な作業に感じました。(安田さん)



## 仕事 3 縫い目の毛出し

着ぐるみに縫い目があると「つくりもの」感が出てしまうため、ブラシで縫い目を覆うように毛を引き出して目立たなくし、自然な「生き物」に見えます。

▶ ブラシで生地縫い目を消す。



▶ 強く引っかくと毛がはげるので、トントンと優しく。

## 仕事 4 面下縫製

着ぐるみを清潔に保つため、着る人は全身の素肌を覆います。頭の部分を覆う「面下」づくりに挑戦！ 生地を切り、工業用ミシンで縫い合わせます。

▶ 型紙に沿って、ロータリーカッターでニットを切る。



▶ スピードの速い工業用ミシンで、あっという間に縫える。



少し難しかったけど完成！



した。  
安田さん ●暑い時期にもオーダーは入りますか？ 通気性の工夫が必要ですよ？  
二村さん ●着ぐるみって、一度つくと3年ぐらいは使えるんですよ。だから特別に夏用のものはないです。夏でも着ぐるみのイベントは開催されます。イベントの場所や着ぐるみのデザインにもよりますが、基本的にはなるべく軽く、通気性よく涼しくなるように設計しています。  
嶋田さん ●今もすばらしい着ぐるみがつくられていると思うんですが、もっとやりたいことはありますか？  
二村さん ●着ぐるみ専用の素材はないので、着ぐるみにもっと適した素材を探していきます。軽くて丈夫で、着ていて快適な着ぐるみづくりを追求していきたいです。  
安田さん ●着ぐるみをつくる上で、重要なことって何ですか？  
二村さん ●着ぐるみが出演する現場をよく知ることです。つくり手は良いモノづくりのためにこだわりを持っていきますが、それが現場のニーズとずれる場合もあるので、独りよがりにならないようにしたいです。  
嶋田さん・安田さん ●奥の深いお話を、ありがとうございました！